

入院診療計画書

婦人科開腹術(全麻用)を受けられる

()様へ

2部印刷
1部：患者ファイル
1部：患者様用

病名
年齢
生年月日
薬剤師
症状
受持看護師
病棟
管理栄養士

日付	日付を入力						～		
病日	入院日 (手術前日)	手術当日		手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4～5日目	手術後6日目	手術後7日目(退院)
		(手術前)	(手術後)						
目標	不安に思っていることが表出できる 心身ともに安定して手術を受けることができる	手術が受けられる状態である	痛みを我慢せず伝えることができる 手術後ベッドの上で安静に過ごすことができる		歩行することができる		排便がある		退院後の注意点がわかる
食事	昼から食事ができます (必要に応じて治療食が できます。) 麻酔科医の指示時間以降、食べることができません	食べることができません 水分は麻酔科医から説明があります 	朝から飲水は自由です 昼から流動食が開始になります 夕方から5分粥になります	朝から全粥になります 昼から普通食になります 必要に応じて治療食が出ます 					
安静度	自由です 	点滴が始まってからも歩行できます 	ベッド上で過ごしますが、足は曲げたり伸ばしたりしてもかまいません 	朝から動く練習をしています。尿の管を抜き、トイレまで歩いて行くことができます。 					
点滴		午前中に点滴を始めます 	点滴は1日目の点滴が終われば抜きます						
治療 処置 検査 その他	患者様識別のリストバンドを装着します 必要物品の確認をします 医師より手術について説明がある場合は、御家族も同席してください  寝る前に下剤を飲んでください 看護師が入院中の生活について説明し  麻酔科の医師から話があります 入院に至った経過等についてお聞きします 手術日までに薬剤師がお薬について説明します 寝る前に下剤を飲んでください	早朝に浣腸をします 手術部位の毛剃りをします  手術着に着替え、点滴を始めます 	体温、脈拍、血圧等、定期的に状態を見に行きます 痛みが強い時は座薬や注射等を使用します 吐き気が強い場合は吐き気止めを使います 状態に合わせてナプキンの交換をしていきます	血液検査をします  医師による創部の診察(ない場合もあります) 点滴終了後に尿の管を抜きます 看護師が身体を拭くのを手伝います	2日目は清拭をしますが、3日目からシャワーに入ることができます。シャワー後は創部の状態を確認させていただきます。 		血液検査と尿検査があります  薬剤師がお薬について説明します	退院前に退院後の生活について説明します。 病理組織の結果が出るまで、1～2週間かかります。入院中に出ない場合は外来で説明をさせていただきます	
	説明 注意点	入院時、化粧、マニキュア、指輪、ピアス等ははらずして下さい 食物やお薬などのアレルギー歴がある場合は医師または看護師にお知らせ下さい 食 ○準備するもの○ 腹帯1枚 紙オムツ1枚 バスタオル1枚	シャワー後、手術着に着替え、弾性ストッキングを着用します。	☆ 手術後の注意点 ☆ ・手術後、足を曲げたり、伸ばしたりできます ・排尿について尿の管を抜けば、トイレまで歩いて行くことができます。最初に尿が出たときは看護師にお知らせください。 ・排ガスについて腸の運動を知るのに大切ですので、最初に排ガスがあった時は、看護師に必ずお知らせください					

※上記内容は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにたがって変わることもありますのでご了承ください

※ご質問等ございましたら気軽にスタッフへ声を掛けてください。

※ 特別な栄養管理の必要性 ☐ 有 ☒ 無

主治医 ☐ 印又は署名

私は、上記診療行為について、主治医から十分な説明を受けました。

◇総合的な機能評価◇ ☐ 評価対象外

・日常生活動作

☐ 問題なし ☐ 要経過観察

・認知機能

☐ 問題なし ☐ 要経過観察

・意欲

☐ 問題なし ☐ 要経過観察

年 月 日 患者 又は 親権者・親族等サイン (続柄)

高知赤十字病院 産婦人科 10-001-P1(患者用)